

【機械・重点事業】自転車・モーターサイクル

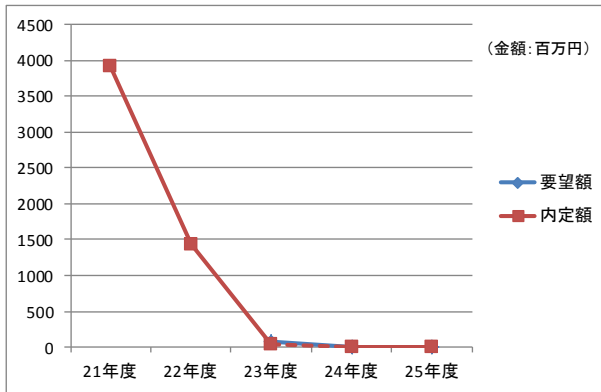
1. 補助の目的・概要

自転車産業・小型自動車（モーターサイクル）産業の振興は、JKAの定款に定められた事業目的の一つであり、機械工業振興補助においても特に力を入れてきた分野である。

平成23年度の機械工業振興補助においては、環境にやさしい自転車社会づくりに資する事業並びに自転車・モーターサイクルに関する事業を重点事業とした。

2. 補助実績（件数・金額）

自転車・モーターサイクル



年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数 [*] (件)	内定額 [*] (百万円)
21年度			11	3,921
22年度			11	1,425
23年度	5	73	3	32
24年度	0	0	0	0
25年度	0	0	0	0

※辞退となった事業を除く

平成23年度においては、5件7,300万円の補助要望があり、そのうち3件3,200万円の支援を行った。なお、4件の内定事業のうち、1件が辞退となった。

3. 補助事業の事例

一般財団法人自転車センター

夢の自転車のアイデアをテレビ・雑誌・新聞等にて募集。全国より2,500件以上のアイデアが集まり、優秀作品の一部については実際に製作。関西サイクルスポーツセンター広場内に、夢の自転車を展示・試乗コーナーを設置し、展示会や無料試乗会を実施。



4. 補助事業の成果

(一財) 自転車センターが実施する、夢の自転車普及活動について補助を行った。この事業は、環境にやさしい乗り物である自転車の、遊びとしてより楽しい姿や近未来の姿についてアイデア募集、コンクールを行うことにより自転車のさらなる可能性を追求するとともに、子ども達の自転車への関心を高めることを目的としている。

23年度はホビーサイクル部門 2,072 点、近未来型 433 点の応募があり、審査を行って優秀作品を表彰した。また、一部の作品についてはプロトタイプを製作し、関西サイクルスポーツセンターにおいて試乗会を行い、アンケートを実施した。

これらの活動により、自転車産業を活性化し、ひろく自転車への理解を深めるとともに将来の新製品開発にもつなげることが期待できる。

5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象 6 件（1 補助事業で複数項目を評価していることがあるため事業数とは異なる）のうち、5 段階評価で全ての事業が評価 4 [比較的高い]であった。

事業者の自己評価等を踏まえ J K A で評価を行ったところ、A++ [極めて高い] が 1 件、A+ [比較的高い] が 3 件、A [概ね十分] が 2 件とすべての事業で補助事業として概ね十分と評価される A 以上の評価となっており、補助の目的の一つである自転車産業の振興の一助となったと思われる。

6. 今後の検討課題

この分野については平成 24 年度以降の内定がないが、自転車工業、小型自動車工業は、競輪・オートレースの基盤となるものであり、引続き重点項目として支援していきたい。この分野における要望を増やすために、補助事業の活用を働きかけていく必要がある。